



## 地域の方のために

### 鳥獣被害を防ぎたい

畏猟師

かまうちよしのり

鎌内克典さん

竹野町在住。幼少期に行った竹野の海に魅力を感じ、2013年に竹野町へ移住。畏猟師として、年間200頭前後の有害鳥獣を捕獲している。畏猟師として働く傍ら、夏は竹野の海で、カヌー体験など海に関わる活動もしている。



▲シカ肉は犬が好んで食べるため、竹野地区にある加工施設で加工され、ペットフードなどに活用される

シカをはじめとする有害鳥獣による農作物や森林の被害をなくすため、竹野地域で畏猟師として活動しています。

以前から問題となっていた農作物の被害に加え、近年は森林被害も増えています。森林被害とは、シカなどが樹木の枝葉を食べ尽くしたり、樹皮を剥いだりすることなどです。これにより、再造林や森林整備にも影響が出ています。また、被害は宅地にも出ています。

畏は、20～30基ほど設置しており、一日に数頭、畏にかかった時は、運搬作業に時間と体力を使います。畏の管理や見回りは大変な労力ですが、地域の方々や山林所有者から感謝の言葉をいただくときに、やりがいを感じます。

鳥獣による被害が急激に減少することはありませんが、将来的に被害防止柵が不要になるような環境を目指して、これからも活動を続けていきたいと考えています。

## Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

### 「性別にとらわれず輝きたい」と力強く発表



但馬代表として豊岡高校3年生の山本美結<sup>やまもと みゆ</sup>さんが、7月29日～30日に愛知県名古屋市で開催された「ソロプチミスト ユース・フォーラム 2025 in 名古屋」に参加し「未来に輝く女性の生き方」についてグループ別に話し合い発表を行いました。山本さんは「知ること、考えること、話し合うことの大切さを再認識しました。女性の生き方や未来について全国の同世代で同じ考えを持つ方と交流ができたことがよかったです」と話していました。

### 豊岡市消防本部 近畿地区指導会で2種目優勝



消防救助技術の速さと正確さを競う「第53回消防救助技術近畿地区指導会」が、7月19日に県立広域防災センターで開催されました。

豊岡市消防本部からは4種目に10人が出場し「ロープ応用登はん」と「はしご登はん」の2種目で県第1位の成績を収めました。入賞した隊員は「今後も市民の皆さんの安全・安心を守るため、訓練を継続し、知識・技術の向上に努めます」と話しました。8月30日には、第53回全国消防救助技術大会に出場します。

豊岡市 SNS



各施設・事業の SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。